

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築資材の資源循環研究小委員会	主 査 名：野口 貴文 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主 査 名：小山 明男
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>多量に資源を利用している建築材料が資源循環に果たすべき役割は大きいことから、その促進を図るために、本小委員会の活動を通じ、「建築分野における資源循環のための指針・提言(案)」(仮称)を制定し出版することを目的とする。</p> <p>初年度：「建築分野における資源循環の考え方(案)」の執筆開始 2 年度：「建築分野における資源循環の考え方(案)」の完成 出版および講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：野口貴文(東京大学) 幹事：小山明男(明治大学) 委員：田村雅紀(工学院大学)、古賀純子(芝浦工業大学)、越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会)、立屋敷久志(ダイヤリフォーム)、内田陽一(塩ビ協会)、小林修一(板硝子協会)、北坂昌二(石膏ボード工業会)、堤 隆宣(ALC 協会)、佐々木哲也(アレックス協会)、小倉直人(ECP 協会)、木村祥平(三菱マテリアル)、辻大二郎(竹中工務店)、朝吹香奈子(国士舘大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>特定建設資材廃棄物 WG： 建設リサイクル法における特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材(繊維板等を含む)、アスファルト・コンクリート)に関して、精緻な統計データ(時間的推移)を調査する。</p> <p>主査：田村雅紀(前掲) 委員：北垣亮馬(北海道大学)、中島史郎(宇都宮大学)、宮谷賢治(石膏ボード工業会)、高木健治(株式会社ノザワ)、松原稔(ニチハ株式会社)</p>	
2019 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a930.html">https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a930.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	出版に向けての原稿執筆は、計画より少し遅延しているが、現在、建築物にストックされている建築材料の種類と量の概要を把握し、既存建築物の解体時期の推定も概略可能となってきたため、次年度は原稿執筆に移行できるものと予想される。
委員会活動の問題点・課題	学会会員以外の協力を仰ぐことが必要不可欠であるが、会員外の委員が会議資料等の閲覧を行うことが困難な状況にあり、改善が望まれる。